

会 議 録

会 議 名	平成29年度第2回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	平成29年10月25日(水) 18時～20時		
開 催 場 所	801会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 鈴木輝一副委員長 中重久子委員 福沢政雄委員 益田智史委員 大久保勝征委員 津田野栄一委員 桑谷哲男委員 藤本裕委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 鈴木遵矢 コミュニティ文化課文化推進係 高橋航 2 市民交流センター指定管理者 (1) 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 柳町匡俊 (2) サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 宇山友思 支配人 青木直人		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 前回議事録の報告 (2) 平成30年度事業計画について (3) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 平成29年度第1回議事録 (2) 平成30年度小金井市民交流センター事業計画書 (3) 指定管理者からの資料		

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 指定管理者の館長及び支配人変更に伴う紹介を行った。
- (2) 事前配布資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (3) 会議の運営について事務局から説明を行った。

本運営協議会の開催時期は、6月から9月までの間に第1回として開催し前年度の事業報告についての審議、9月から11月までの間に第2回として開催し次年度の事業計画について審議する。

各議題の最後に指定管理者に対する意見や要望がある場合においては、それをまとめる（指定管理者へ指摘すべき点等について協議し、市に対して意見をするということが本協議会の所掌事務のため）。

議題

1 前回議事録の報告

前回運営協議会にて出された意見のその後の対応について、市及び指定管理者から次のとおり説明

- (1) 開館5周年となり、施設に対しての成果や評価を行うことの検討について
市において、平成30年度実施に向け、予算確保等の準備を進めている。と回答
- (2) 開館10周年に向けた、施設オリジナル作品制作の検討について
現在行われている公演についても、小金井 宮地楽器ホールオリジナルのものは少なくないが、指定管理第3期についても現指定管理者が運営を任せてもらえた際には、オリジナル作品の作成は検討課題といたしたい。と指定管理者から回答
- (3) 市民へのチケットプレゼントの検討について
市の方でチケットを指定管理者から購入し、市民に差し上げることは難しいものの、現在も行っている無料で芸術文化に触れる機会の提供については継続していきたい。と回答

2 平成30年度事業計画について

指定管理者から平成30年度事業計画について説明の後、質疑を行った。

・委員から「これからさらに進んでいく再開発の中で、小金井 宮地楽器ホールにおけるマルチパーパススペースのような、駅周辺に市民が少し集まれるような場所や、作品を展示できるようなスペースというものを今後も確保してほしい」という意見

・委員から「小金井 宮地楽器ホールという名前について、民間の施設でなく、市の施設であるということを積極的に広報してほしい」という意見

→また、別の委員から「ホールの運営については多額の管理費などが充てられており、その中ではネーミングライツ料300万円というのは、不十分な金額なのではないか

」という意見

→また、別の委員から「市民交流センターの名前を残す意味で、小金井 宮地楽器ホールという愛称と合わせて交流センターの正式名称を併記することも検討してほしい」という意見

→市から、ネーミングライツの協定における更新手続きについて、株式会社宮地商会と調整を行っている旨の説明

→また、別の委員から「ネーミングライツに伴う施設の愛称については、協定の更新が行われた際にも、改めて検討を行ってほしい」という要望

・委員から、「多摩エリア随一の文化都市として内外の評価を得ることをミッションとしている点について、ホールだけで達成することが難しい目標であり、誤解の生まれないような表記にしたほうがよいのではないか」という意見

→指定管理者から、「文化都市を目指す部分については市の目標であるシティプロモーションとあわせて、ホールでも注力できる部分があるのではないかと考えている。また、他市の市民から評価をいただけることなども小金井市民のシビックプライド醸成につながることもあると思う。そういった方向性がホールの目指すべきところではないかと考えている」と説明

→また、別の委員から「内外のシティプロモーションというよりも、地元の商店会などと交流する中で、地域活性化を図っていくことも今後求められる役割なのではないか」という意見

→また、別の委員から「武蔵小金井駅南口第二地区の再開発も進んでおり、駅周辺のインフラが少し変わりつつある。ホールにおいては、現在も行われている武蔵小金井活性化協議会などに出席するなどして、ホールの運営だけでなく、地域とのかかわりと増やして行ってほしい」

→また、別の委員から劇場とまちの活性化について他市の事例などについて解説。

・委員から「リハーサルにおける利用料は舞台面のみ使用することで半額とされているが、客席に入って準備を進めることなど流動的な対応を進めてほしい部分がある」という意見。

→また、別の委員から「使用の仕方について、細かい設定などは市が決定しているのか、指定管理者が決定しているのか」という質問

→指定管理者から「細かい設定は指定管理者で決定している。利用者からの様々な意見を踏まえ、舞台面のみ利用で半額にすることの本来の目的や、公平性を鑑みた制度のあり方などを整理し直したうえで、近いうちに改めて提示することを検討中」と回答

・委員から「和服の衣装で楽屋を利用する際に便利なように、一部分にカーペットを敷く等の整備を進めてほしい」という意見

・委員から「ホールの利用申込後に、利用内容の確認審査が行われている。審査の趣旨は？また審査した結果、利用不可となった事例があるか。また、利用者登録を始め

てからこの審査内容に変更は発生しているか知りたい」という質問

→指定管理者から「ほとんどのケースでは問題なく、申請どおりの利用を行っていただいている。確認審査の趣旨は、反社会的勢力の利用を未然に食い止めるというケースと、利用の仕方などについてあらかじめスタッフから利用者様にお願いをする必要があるケースなどを想定している。また、利用者登録が始まったことで、ホール側で確認審査に要する時間は短縮されている」と説明

・委員から「市民への文化調査を行うのであれば、内容については慎重に検討をおこなってほしい」という意見

・委員から「指定管理者が行ったアンケートについて、どのようなアンケートであったのか教えてほしい」という質問

→指定管理者から「主催公演の来場者アンケートについては、各事業ごとに設定したターゲットなどが結果としてあらわれているかといった点などについてまとめ、翌年度事業の企画立案に活かしている」と説明

→委員から「アンケートについては結果分析を適切に進めてほしい」という要望

・委員から「ホールの運営に携わる方の異動もあると思うが、マニュアル等の整備を行い、サービス品質の維持継続ができるような体制は整えてほしい」という意見

⇒ 上記の意見を踏まえ、運営協議会として、次のとおり意見をまとめた。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 ネーミングライツに伴う施設の愛称については、ネーミングライツ審査委員会において、改めて一定の検討を行ってほしい。(要望)2 舞台面の利用に関する規定について、改めて整理を行ってほしい。(要望)3 ホールの運営については、ホールの中にとどまることなく、地域とのかかわりを増やして行ってほしい。(要望)4 アンケートについては、適切に分析を進めてほしい。(要望)5 単なる事業評価にとどまらない政策評価を行えるような検討をすすめてほしい。(要望) |
|---|

3 その他

- ・次回運営協議会を平成30年6月から9月の期間に開催することとした。